

11×5 ゲーム否決



スコアシステムの変化にNO！！

BWFの総会（5月19日：タイバンコク）で5×11ポイントシステムへの変更を問う会議が開かれました。

結果は賛成 129 票、反対 123 票で改正には 168 票以上（三分の二ルール）が必要なので新スコアは否決されました。

BWFは2月から積極的に新ルールをプロモーションし、Enhancing Badminton's Future と謳って改革への本気度が伺えました、また、総会前に新ルールのプレゼンをしたりしていましたが、私ははっきりなるものかと思っていましたが、結果は否決されました。

今思うと、関係がないかもしれませんが、少し前にBWFの副会長が辞任したり、インドネシア協会が総会前に反対を表明したり、若き皇帝デンマークのビクター・アクセルセンが新ルールについて真向から反対し、総会2、3日前に雲行きが怪しくなってきたなどは私自身も思っていました。

固定サービス制について

固定サービス制（1.15）についてはどうやら生き残ったみたいですが今年の12月まで実験が行われ再度検討されるようです。

これで、基本的には東京オリンピックまでは現行のスコアリングシステムで決まりです。過去に例外的もありますが、おそらく臨時総会はしないでしょう。

ここで大事なのは「賛成が 129 票」と反対を押さえわずかに上回っていることです。東京オリンピック後また再燃し 40 票上乗せできればスコアリングが変わります。

それでは、トマス・ユーバでの日本代表の健闘を祈って特に女子はどのサイトも日本を史上最強のチームとして評価しているのを優勝してほしいです。

苫小牧地区公認審判員広報誌 №2

副理事長 小藏 力